

チーク材ギリギリの端材によるティーテーブルの製作について

今回の依頼は以前にチーク材にてダイニングテーブルを製作した残り材を利用してのティーテーブルの製作です。

ちょっと気がかりなのは割れがあり、希望寸法の製作が困難な場合があることです。



以前製作したダイニングテーブルです。



ダイニングテーブルの端材です。

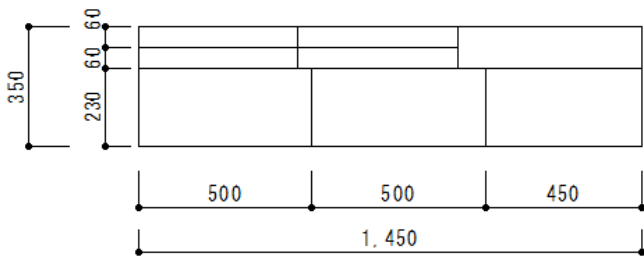
ティーテーブル

仕様

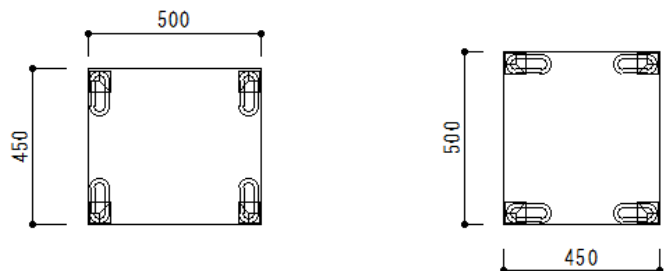
脚60角塗装：グラノール艶消し4回塗りレグフィクスB使用
脚テーパーは60から30までに絞れます。

残念ながら、この端材では500*500の天板が取れません。
500*450の天板が一杯ではないでしょうか？。

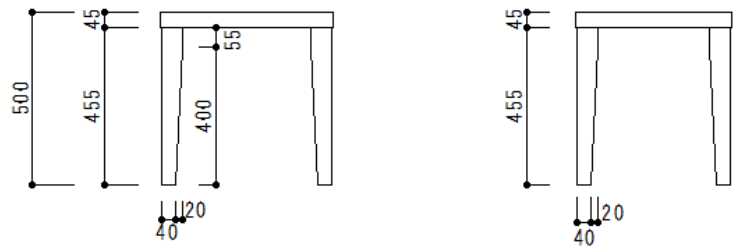
チーク端材木取り平面図



平面図



正面図



(株)マルタイ 家具部 平成23年9月15日

条件として天板は2枚剥ぎとなり、天板 500*450 (希望 500 角) となりました。



天板裏面のひび割れ状況です。





天板状況です。
ひび割れの筋はあるものの味のある杳目と色が出ています。



ちょっと足の付け根が太い感じですが、レッグ FIX-B を使用しているため付け根は Min.60 角です。
時間が無く、バタバタして納品しましたので、こんな画像しか残っていませんでした。
2枚剥ぎ割れのあるチークのティーテーブルは小さいながらチークの味がよく出ています。そして、同じ1枚板からダイニングテーブルの弟分としてティーテーブルがここに誕生しました。

(株)マルダイ 家具部 Da・monde 鈴木

平成23年11月4日